

# 令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉中学校

## ■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

## ■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

## 1 調査結果について

### ■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率はおおむね全国平均を上回っており、学習の定着がみられました。特に「漢字の読み」は、100%に近い正答率でした。また「読むこと」においては、「登場人物の心情や行動に注意して読み内容を理解すること」が全国平均を大きく上回っていました。しかし、「書くこと」については全国平均を下回り、課題がみられました。具体的には「話合いの話題や方向を捉えて話す内容を考える」問題についての正答率が低かったです。
- ・数学では図形でわずかに全国平均を下回りましたが、「数と式」「関数」「資料の活用」では全国平均を上回りました。正答率が特に高かったのは計算や方程式の内容でした。正答率が低かったのは「扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ」という問題でした。

### ■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・朝食を毎日食べている、毎日同じくらいの時間に就寝・起床している生徒が全国比を7ポイント上回ったことから、規則正しい生活をしている生徒が多いといえます。
- ・自分にはよいところがあると思うか、人が困っているときは進んで助けているか、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うかなどの質問に対しては、全国平均を5～8ポイント上回っており、規範意識が高いことがうかがえます。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい、友達と協力するのは楽しいと考える生徒が全国に比べ5ポイント高く、また国語の勉強は好きだ、数学の勉強は好きだという生徒が全国に比べ7ポイント高かったです。これらから学習に意欲的に取り組む生徒が多いと考えられます。
- ・平日の家庭学習時間を比較すると、2時間以上学習する生徒が全国に比べて少ない結果となりました。

## 2 これからの取組について

### ■学校で取り組んでいくこと

- ・国語では、話し合いの方向性を捉えて自分の考えが分かりやすく伝わるよう、工夫して表現する活動を取り入れることにより、「書く力」を高めていきたいと思えます。
- ・数学では、計算力のさらなる向上を図るとともに、図形をさまざまな角度から捉える力を高めていきたいと思えます。また、規則性に関する問題や資料の分析に関する問題に数多く取組みながら、数学的なものの方見方や考え方をさらに伸ばしていきたいと思えます。
- ・キャリア教育を通して将来の夢や目標をもたせ、目標に向けて自らに必要なものは何か考え、意欲的に物事に取り組む姿勢を育てていきたいと思えます。また、各教科ごとに課題を適切に与え、家に帰ってから自分が何をすればよいのか考えられるように仕向けていきたいと思えます。

### ■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・生徒が規則正しい生活を送ることができているのは、家庭や地域の御協力によるものです。これからも規則正しく健康的な生活が送られるように、食事・睡眠・生活リズムの質の向上を心掛けていただきたいと思えます。
- ・生徒の学校での様子や興味をもっているものについて耳を傾けていただくことで、家庭での安心感を醸成していただくとともに、生徒のやる気を高めていただくことをお願いいたします。